



2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月15日

上場会社名 株式会社アイケイ

上場取引所 東名

コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

四半期報告書提出予定日 2019年1月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	9,356	0.9	218	57.9	228	56.5	147	60.3
2018年5月期第2四半期	9,272	31.1	518	145.4	524	150.5	371	142.9

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 147百万円 (60.5%) 2018年5月期第2四半期 373百万円 (142.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	19.74	
2018年5月期第2四半期	49.91	

(注) 当社は、2017年12月1日付及び2018年4月1日付で、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年5月期第2四半期の「1株当たり四半期純利益」は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	6,544	2,596	39.7
2018年5月期	6,288	2,524	40.1

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 2,596百万円 2018年5月期 2,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		10.00	10.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,947	8.8	831	7.5	846	6.0	571	11.0	76.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年5月期2Q	7,808,000 株	2018年5月期	7,808,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年5月期2Q	330,900 株	2018年5月期	330,900 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年5月期2Q	7,477,100 株	2018年5月期2Q	7,452,400 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)2018年5月期第2Qの期中平均株式数(四半期累計)の株式数は、当社が2017年12月1日付及び2018年4月1日付で、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますことから、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績が堅調に推移するなか、緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら、米国の通商変化による貿易摩擦や原油価格の上昇などにより、世界経済の先行きは不透明感を強めております。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第2四半期連結累計期間におきまして、メーカーベンダー事業では、生協ルートではほぼ計画通りに推移いたしましたものの、WEB・TVショッピングルート(B to C)及び海外・インバウンドルートが計画を下回って推移いたしました。特にTVショッピングにおいて、広告宣伝費に対する売上効率がダウンいたしましたことから販売費及び一般管理費比率がアップし、営業利益減少の要因となりました。商品面では、メーカーベンダー事業における成長の鍵となるキーワードを「化粧品・海外・EC」とであるとの認識のもと、引き続き自社商品(プライベートブランド商品)の開発に注力してまいりました。

SKINFOOD事業では、当事業のフランチャイザーである韓国のSKINFOOD社が、2018年10月8日に日本の民事再生に相当する回生手続の申立てを行いました。翌週に裁判所から回生手続開始の決定がなされ、工場が再稼働し始めました。この再稼働により商品の供給も滞っておらず、日本国内の当社店舗におきましては、ほぼ前年同様の売上を確保しております。当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、当第2四半期連結会計期間での新たな出店及び閉店がなかったことから、直営店21店舗(前年同期末20店舗)、FC店2店舗(前年同期末3店舗)の23店舗(前年同期末23店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,356百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業利益218百万円(前年同四半期比57.9%減)、経常利益228百万円(前年同四半期比56.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益147百万円(前年同四半期比60.3%減)となりました。

ITソリューション事業では、引き続きチャットシステム「M-Talk」(エム トーク)の拡販と通話録音システム「Voistore」の販売に注力してまいりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

<メーカーベンダー事業>

売上高は8,770百万円(前年同四半期比0.7%増)となり、営業利益は208百万円(前年同四半期比48.4%減)となりました。

<SKINFOOD事業>

売上高は473百万円(前年同四半期比1.0%減)となり、営業利益は18百万円(前年同四半期比84.8%減)となりました。

<ITソリューション事業>

売上高は112百万円(前年同四半期比27.6%増)となり、営業損失は11百万円(前年同四半期は9百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ278百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が67百万円、「商品及び製品」が323百万円、それぞれ増加したことと、「現金及び預金」が144百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ22百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「無形固定資産」が4百万円、「投資その他の資産」が15百万円、それぞれ減少したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ85百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が571百万円増加したことと、「買掛金」が110百万円、「未払金」が164百万円、「未払法人税等」が126百万円、それぞれ減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が99百万円増加したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は3,948百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が72百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に、変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	560,630	416,007
受取手形及び売掛金	2,678,418	2,746,153
有価証券	127,219	134,205
商品及び製品	1,523,518	1,846,612
原材料及び貯蔵品	10,269	8,535
その他	424,477	451,652
貸倒引当金	△187	△188
流動資産合計	5,324,348	5,602,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	175,942	177,694
土地	80,216	80,216
その他(純額)	66,582	62,406
有形固定資産合計	322,741	320,317
無形固定資産		
のれん	48,841	36,844
その他	117,918	125,232
無形固定資産合計	166,759	162,077
投資その他の資産		
その他	486,260	470,465
貸倒引当金	△11,149	△11,147
投資その他の資産合計	475,110	459,318
固定資産合計	964,612	941,713
資産合計	6,288,960	6,544,693
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,431,624	1,321,623
短期借入金	208,967	780,000
1年内返済予定の長期借入金	422,052	447,124
未払金	606,962	442,828
未払法人税等	217,567	90,792
賞与引当金	45,328	24,540
返品調整引当金	19,966	15,694
その他	223,084	138,010
流動負債合計	3,175,551	3,260,612
固定負債		
長期借入金	328,295	428,104
退職給付に係る負債	96,166	103,933
役員退職慰労引当金	142,700	142,700
その他	22,113	12,693
固定負債合計	589,275	687,432
負債合計	3,764,827	3,948,045

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	404,089	404,089
利益剰余金	1,753,823	1,826,651
自己株式	△36,233	△36,233
株主資本合計	2,523,428	2,596,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704	391
その他の包括利益累計額合計	704	391
純資産合計	2,524,133	2,596,647
負債純資産合計	6,288,960	6,544,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
売上高	9,272,078	9,356,742
売上原価	5,286,557	5,088,433
売上総利益	3,985,520	4,268,308
販売費及び一般管理費	3,466,652	4,050,044
営業利益	518,867	218,263
営業外収益		
受取利息	882	1,502
受取手数料	3,027	1,178
為替差益	1,784	6,577
その他	2,521	3,703
営業外収益合計	8,215	12,962
営業外費用		
支払利息	2,304	2,930
その他	127	1
営業外費用合計	2,431	2,931
経常利益	524,651	228,294
特別利益		
関係会社株式売却益	1,492	—
特別利益合計	1,492	—
特別損失		
固定資産除却損	4,783	—
減損損失	6,662	—
特別損失合計	11,445	—
税金等調整前四半期純利益	514,698	228,294
法人税等	142,737	80,695
四半期純利益	371,961	147,598
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,961	147,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	371,961	147,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,766	△312
その他の包括利益合計	1,766	△312
四半期包括利益	373,727	147,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,727	147,285

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	514,698	228,294
減価償却費	39,803	56,549
減損損失	6,662	—
のれん償却額	6,611	11,997
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△259	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,654	△20,788
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	26,330	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,236	7,767
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,245	—
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,214	△4,272
受取利息及び受取配当金	△1,821	△2,479
支払利息	2,304	2,930
為替差損益(△は益)	△1,855	△6,806
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,492	—
固定資産除却損	4,783	—
売上債権の増減額(△は増加)	△242,804	△67,734
たな卸資産の増減額(△は増加)	△352,730	△321,360
仕入債務の増減額(△は減少)	498,707	△110,000
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△10,894
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,518	△62,123
未払金の増減額(△は減少)	57,109	△151,756
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,179	△11,794
その他の負債の増減額(△は減少)	△7,280	△32,045
小計	558,989	△494,517
利息及び配当金の受取額	1,735	2,321
利息の支払額	△2,280	△3,080
法人税等の支払額	△73,573	△212,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	484,871	△707,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,627	△55,568
無形固定資産の取得による支出	△51,485	△18,249
関係会社株式の取得による支出	△14,730	—
関係会社株式の売却による収入	1,500	—
貸付金の回収による収入	13,586	23,515
差入保証金の差入による支出	△5,051	△6,765
差入保証金の回収による収入	1,290	200
その他	△315	△315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,834	△57,184

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	571,033
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△230,962	△275,119
配当金の支払額	△55,868	△73,502
その他	△549	△549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,380	621,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,855	5,558
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	313,511	△137,637
現金及び現金同等物の期首残高	253,649	687,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	567,160	550,213

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。